# 鎌倉市における戸別収集のあり方について方針（素案）への意見一覧と市の考え方

**いただいた御意見は、一部内容を要約しています。**

| No. | 区分 | 意見件数 | 意見内容 | 市の考え方 |
|---|---|---|---|---|
| 1 | コスト | 6 | ・ごみ有料袋を値上げしてもかまわないので、戸別収集を実施してほしい。<br>・コストがかかっても実施すべきである。<br>・費用はかかるが、将来的にはコストメリットがあると思われる。 | 戸別収集の実施に当たっては、経費の抑制を図り、市民の皆さまのご負担が極力増えることのないよう努めます。<br>また、戸別収集の実施には様々なメリットがあると考えており、ごみ収集そのものサービスの向上だけではなく、見守り機能などの副次的効果も期待できるものと認識しています。実施に当たっては、費用対効果を常に意識しつつ、収集業務に支障のない範囲で効率化等を図り、経費の抑制に努めてまいります。 |
| | | 1 | ・家庭系指定収集袋の歳入を充当するのはおかしい。処理施設建設基金に充てないのであれば、指定収集袋の値段を下げるべきである。 | 戸別収集に充当する歳入1.9億円については、従来「減量・資源化策」に充てていた１億円を「新たな減量・資源化策としての戸別収集」に充当し、「鎌倉市一般廃棄物処理施設建設基金」に充てていた１億円のうち0.9億円を戸別収集に充てることを考えています。ごみの有料化は、ごみの減量を目的に実施しているものであり、減量・資源化策である戸別収集に充当することは矛盾がないものと考えています。また、一般廃棄物処理施設建設基金については、施設整備の状況を踏まえ適正に積立を行ってまいります。<br>なお、有料袋の値下げの予定はありません。 |
| | | 17 | ・戸別収集による経費の増加に反対する。<br>・メリット（コスト削減）が見えない。<br>・昨今の社会情勢を考慮すると、今は戸別収集を実施するべきではない。<br>・指定収集袋の値上げや、他行政サービスが犠牲になるのではないか。<br>・ゴミ処理コストの過去、現在、未来のコスト予想と実績と推移の詳細を市民に公開してまずは現状の認識、総括を徹底的に行うことが重要と考える。<br>・動物被害があまり出ていない地域がコストを負担する合理的理由はない。 | 戸別収集実施に伴う経費増については、ごみの減量だけではなく、高齢者等のごみ出しやクリーンステーションの維持管理に係る負担の軽減などのメリットもあるため、十分な費用対効果が得られるものと考えています。ごみ処理に係るコストについて市民の皆さまにご理解いただくことは大変重要であると認識しており、従来から実施している「ごみ処理基本計画アクションプログラム」等を通して、取り組み状況や実績等の周知を図ってまいります。また、実際に戸別収集を実施することとなりましたら、ノウハウを蓄積していくことで収集作業の効率化を図る等、経費の抑制に努めるとともに、戸別収集の体制構築の過程で、ごみや資源物の収集量の変化や処理技術の進歩に応じた分別区分の見直し、収集回数の適正化を図ってまいりたいと考えています。<br>なお、燃やすごみ単体の収集経費については、令和５年度のクリーンステーション収集が約2.3億円であったのに対し、全市で戸別収集した場合は5.5億円（3.2億円増）と試算しています。 |
| | | 1 | ・「減額（リサイクル分別の増量）」の積算根拠を明示してほしい。 | 戸別収集により分別意識が高まり、燃やすごみに含まれる資源物が適切に分別されるようになります。以前の検討時には、有料化による一定の減量効果を考慮し、戸別収集のみの減量効果を４％弱と見込んでいましたが、近年の燃やすごみに含まれる資源物の混入割合が有料化開始前の約25%の水準まで近づいていることや、本市モデル事業や他戸別収集実施自治体の減量効果を参考に、10%の減量効果が生じるものと見込んでいます。<br>減額の根拠については、次の式をご参照ください。<br>＊家庭系ごみ収集量約19,340t（令和4年度アクションプログラム実績）×10%削減効果×（令和元年度）収集処理原価59,037円<br>⇒114,177,558円≒約1.1億円 |
| | | 2 | ・前回モデル事業で課題とされたコストの問題について、どう改善があったか示してほしい。<br>・前回からの改善点が見えない。 | 平成27年当時、燃やすごみ戸別収集の経費を7.2億円と見込んでいましたが、３人乗車（運転手１名と作業員２名）の採用や軽車両の活用等によって、今回その経費を5.5億円（1.7億円減）と試算しています。 |
| | | 1 | ・クリーンステーションの維持管理を一部市民に負担させているが、このコストは含まれていない。 | クリーンステーションの維持管理については利用者の皆さまにお願いしております。一部品目で戸別収集を開始した後も、その他品目についてはクリーンステーション収集が継続されますので、その間の維持管理については引き続き利用者の皆様にご負担いただくこととなります。 |
| | | 2 | ・コストの積算見込みについては大雑把な数字しか示されていない。 | コストの見込みについては現時点での試算となりますが、積算根拠については実績等を踏まえた極力現実的な数字をお示ししています。燃やすごみ戸別収集の委託料については、過去の収集作業を担当していたベテラン職員が実際に市内を回りシミュレーションを行ったうえで必要車両台数や人員数を算出しています。また、減額要素としての燃やすごみ処理経費減については、委託料に現れない人件費や建物・車両の減価償却費についても効果額を見ており、より実態に即した数字を算出しています。戸別収集はクリーンステーション収集と比較して車両や人員数が増えることとなりますが、実際に戸別収集を実施することとなりましたら、そのノウハウを蓄積し更なる効率化を求めるとともに、他品目への拡大を検討する際には複数品目を同時に収集する方法を検討するなど、経費の抑制に努めます。 |
| | | 1 | ・燃やすごみのみを先行するとのことだが、試算は全部の品目を戸別収集にした場合についても提示するべきである。前回と比較できない。 | 平成27年当時、燃やすごみ戸別収集の経費を7.2億円と見込んでいましたが、３人乗車（運転手１名と作業員２名）の採用や軽車両の活用等によって、今回その経費を5.5億円（1.7億円減）と試算しています。<br>燃やすごみの戸別収集を通してノウハウを蓄積し、他品目における戸別収集導入時に過大な財政負担を招くことの無いようにしたいと考えております。燃やすごみの戸別収集の実施が確定し、その運用の中で他品目についての見通しがたった段階で速やかに市民の皆さまにその経費見込みについてお知らせしてまいります。 |
| | | 1 | ・取りすぎた資金は失策である。市民にあやまって環元するなり、ゴミを適切に処分する方策に使っていただきたい。 | 有料化による手数料の使途については、将来のごみ処理行政に寄与することを趣旨として、有料袋の作成や流通に係る経費のほか、ごみの減量・資源化に資する施策や新たなごみ処理施設の整備費用に充てています。 |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 2 | CS維持管理 | 36 | ・クリーンステーションの維持管理では不公平が生じている。<br>・クリーンステーションの管理が曖昧で、自費でネットボックスを修理している等、一部の方に多くの負担がかかっている。<br>・ルールを守らない方がいるため、ごみが散乱して不衛生になっている。<br>・アパートが増えたことにより、クリーンステーションの管理が負担になっている。<br>・以前は町内で協力して管理できていたが、最近ではごみは捨てるが掃除はしない人や自宅近くにステーションを置くことに拒否反応を示す人が増えている。<br>・今のところは、昔からの住人で対応しているが、この先もこの状態が続くと思うと不安である。<br>・ごみ当番のときにかごを組み立てることが困難になってきた。<br>・戸別収集になれば、クリーンステーション近辺の方のストレスがなくなる。<br>・クリーンステーションへ排出する際に考慮しない方がいるため、動物被害にあってしまっている。<br>・当番制としているが、清掃をしない方もいてひどい状況が続くこともある。<br>・当番制を維持することは非常に負担が大きい。<br>・クリーンステーションから自宅が遠い人ほど不法投棄に無関心になってしまう現状がある。<br>・クリーンステーションの清掃を当番制にしたくても仕事や高齢を理由に賛同してもらえない。<br>・自宅の私道部分を収集場として長年提供しており、ゴミのカゴも自腹で購入した。通りすがりに捨てる方もおり、曜日違いのゴミなど自宅に持ち帰り、次回に出すなども行なっている。<br>・高齢の親がクリーンステーションの清掃等を一手に引き受けている。<br>・クリーンステーションの清掃やカゴの代金が一部の人の負担となっている。<br>・ゴミステーションが自分の家の前ではない場合、汚いままにされている場合が多く、見かけると不快。ゴミ当番の人でもなかなか片付けない時もある。戸別は市に負担がかかるが、今後の高齢者の増加を考えても、戸別収集が望ましい。<br>・クリーンステーションの設置場所の問題、管理清掃などの当番の問題、またルールを逸脱したゴミの出し方などが戸別収集になれば解決する。<br>・自治会の予算でクリーンステーションの買い替えの一部または全部を補助しているところもあり、戸別収集になれば自治会費の公平な使用につながると思う。<br>・自宅敷地内にクリーンステーションがあり、誰が使用しているのかわからず管理もされていない。戸別収集であれば各家庭責任において対応出来るのでとてもよい。 | 今回、戸別収集の実施を検討する理由の一つとして、「クリーンステーション収集に伴う様々な負担軽減」があります。クリーンステーション収集では、一部のクリーンステーションにおいて特定の方に維持管理の負担を強いている状況が発生しており、また、現状では適切に維持管理されているクリーンステーションでも、転出・転入や高齢化の進展、ライフスタイルの変化等によって、将来的にクリーンステーションの維持管理が困難になる可能性があることから、継続的に安定した収集方法を確立するため、戸別収集を実施していこうとするものです。<br>ネットボックスのご手配等も含めクリーンステーションの維持管理については、利用者の皆様でご対応いただいているところですが、市では地区ごとに担当指導員を設置しており、クリーンステーション収集の見回りや設置場所等に関するご相談に応じる等、日々活動していますので、お困りのこと等ありましたら市にご連絡ください。 |
| | | 7 | ・ゴミステーションはこの地域共同で所有している土地にあり、カラス等の被害を受けない様、しっかりとした囲いもある。掃除も皆で実施しているので清潔に保たれている。<br>・動物被害は、きちんとゴミ出しをしているところは大きな被害は出ていないと考える。まずは、ごみの出し方やボックスの適正化と指導の徹底を先行して頂きたい。カラスなどの動物被害等の問題のあるステ－ションに関しては、別途、行政指導の形できめ細かい指導を粘り強く行うことを希望する。<br>・ごみステーションに不具合を感じない。清掃や修理は適切に行われている。設置場所に問題はない。<br>・私の利用している集積場は清掃当番無しということでカラス除けでネットボックスを利用する人たちで購入しているので問題ない。<br>・クリーンステーションは一度やめると再構築はできないので、十分に慎重にすべき。高齢化やライフスタイルの多様化が劇的に起こっているわけではないし、クリーンステーションに出すことの不便が市民から強く訴えられているとは思えない。<br>・谷戸の奥が開発された地域の住民はクリーンステーションが遠いと言っている。そういう地域こそクリーンステーション増設が行われるべきだが、住民も市も、話し合いの機会を作ろうとしない。<br>・ゴミ集積場所については様々な悩みがあるが、それは自治的に対処すべき事だと考える。戸別収集といっても、すべてのごみを戸別収集するわけではないので、すぐにクリーンステーションをなくすことにはつながらないことは、明らか。 | クリーンステーション収集では、一部のクリーンステーションにおいて特定の方に維持管理の負担を強いている状況が発生しています。また、現状では適切に維持管理されているクリーンステーションでも、転出・転入や高齢化の進展、ライフスタイルの変化によって、将来的にクリーンステーションの維持管理が困難になる可能性があることから、継続的に安定した収集方法を確立するため、戸別収集を実施していこうとするものです。ネットボックスのご手配等も含めクリーンステーションの維持管理については、利用者の皆様でご対応いただいているところですが、市では地区ごとに担当指導員を設置しており、クリーンステーション収集の見回りや設置場所等に関するご相談に応じる等、日々活動していますので、お困りのこと等ありましたら市にご連絡ください。 |
| | | 3 | ・動物被害などの対策で戸別収集するのであれば、ネットではなくしっかりしたステンレス製のゴミ箱などを設置すれば良いのでは。<br>・動物被害はネットで作られたクリーンステーションがあるためで、条例改正しステンレス製のものを設置する事にすればかなり改善する。 | ネットボックスのご手配等も含めクリーンステーションの維持管理については利用者の皆様でご協力いただいております。クリーンステーション収集に係るトラブルには、動物被害によるものだけではなく、設置場所の調整や管理等の問題もあり、それらが難航し、住民トラブルに発展してしまったケース等もあります。高齢化の進展により、クリーンステーションへのごみ出しが困難な世帯が今後さらに増加することが予想されるため、現状では適切に維持管理されているクリーンステーションも、転出・転入や高齢化の進展、ライフスタイルの変化等によって、将来的にそれが困難になる可能性があります。また、戸別収集の実施によるメリットとして、排出者が明確になることで分別が促進されるとともに、一人ひとりの責任感が高まりルール違反が起こりにくくなることが期待されます。このような理由から、継続的に安定した収集方法を確立するため、戸別収集を実施していこうとするものです。 |
| | | 1 | ・ゴミの不法投棄は犯罪であり、袋を開けて排出者を特定し、指導すると掲示しているクリーンステーションもある。これまで指導を実践したケースがどのくらいあったのか、当方は見聞きしたことはない。あったのなら件数や内容を公表して啓発すべきだと思う。 | クリーンステーションにおける排出指導については、「アクションプログラム（https://www.city.kamakura.kanagawa.jp/gomi/3jiippanhaikibutusyorikihonkeikaku.html）」において、どのような場合に指導（内容物調査）が行われるか、その件数について公表し、周知に努めているところです。なお、内容物調査につきましては、令和２年度は150件、令和３年度は123件、令和４年度は80件実施し、その中で排出者を特定することができた令和２年度84件、令和３年度50件、令和４年度46件について指導を行い、改善を図りました。 |
| | | 1 | ・カラス対策はネット付クリーンステーションならカラスはしだいにあきらめて来なくなる。ネットボックスを市が負担するか補助などすればよい。 | 市内には道路状況等もあってボックスの置けない場所が多くあります。そのため、公平性の観点からネットボックスの費用を一律に負担することは考えていませんが、市ではカラス除けネットの貸出を行っていますのでご利用ください。 |
| | | 4 | ・戸別収集よりも今のクリーンステーションの状態を改善していった方が良い。<br>・クリーンステーションの管理はそれほど苦痛ではない。観光客が多いので、ごみ回収後はネットボックスをたたんでいる。<br>・アンケート評価は良好指数が高く、住民コミュニティも向上しているなど、良いことばかり Q&Aされているが、コミュニティの理解が得られる土壌ならば、現行クリーンステーション方式の改革が一番無理なく効率的な収集が可能ではないか。 | 今回、戸別収集の実施を検討する理由の一つとして、「クリーンステーション収集に伴う様々な負担軽減」があります。クリーンステーション収集では、一部のクリーンステーションにおいて特定の方に維持管理の負担を強いている状況が発生しており、また、現状では適切に維持管理されているクリーンステーションでも、転出・転入や高齢化の進展、ライフスタイルの変化等によって、将来的にクリーンステーションの維持管理が困難になる可能性があることから、継続的に安定した収集方法を確立するため、戸別収集を実施していこうとするものです。なお、複数の先行自治体の状況を踏まえ、戸別収集対象品目でもクリーンステーションを引き続き使用したいという声に対しては、クリーンステーションが問題なく管理できており、利用されている方全員が同意する場合に限り、利用を認める制度について検討いたします。その場合、市全体の収集が原則戸別収集とする中での継続利用希望となることからクリーンステーションでトラブルが生じた場合は利用者の皆様でご対応いただきます。 |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| | | 1 | ・クリーンステーションに無線のモニターカメラを設置するなどして監視することもできる。防犯にもよい副効果が期待でき、そのコストは戸別収集に比べれば大したことではない。 | クリーンステーションに監視カメラを設置するなどして管理することで、不適正排出に対する抑止力が働くことは予想されますが、戸別収集の実施はそうした管理が不要になることに加え、ごみ出しに係る負担の軽減という効果も期待できます。戸別収集については、その費用を補って余りある副次的な効果が生まれるものと考えており、戸別収集で収集作業員が市内をくまなく回ることで、高齢者の見守り効果や道路の異常状況の感知、防犯効果なども期待できるものと考えています。 |
| 3 | CSトラブル | 6 | ・戸別収集実施自治体から引っ越してきたが、自宅前にごみ置き場を設置するよう住民の方から迫られ、脅しのようなこともあって困っている。<br>・トラブルでクリーンステーションが使用不可となり、代替場所が見つからず、ある世帯のご厚意により私有地の一角をごみ集積場として使用しているが、長い期間使用することは難しいと感じているため、戸別収集を開始してほしい。<br>・朝４時頃から捨てにくる人がおり、カンの排出曜日ではケースに入れる音で目が覚めてしまう。<br>・ごみ収集場のことで住民同士でもめることが多い。<br>・新しい入居者が、近くのごみ収集場がいっぱいで遠くに捨てにいかなくてはならないことも。<br>・利用者が多いせいか自由にごみを捨てる人が多く、分別されていないため置きっぱなしになっているごみが多い。 | 今回、戸別収集の実施を検討する理由の一つとして、「クリーンステーション収集に伴う様々な負担軽減」があります。クリーンステーション収集では、一部のクリーンステーションにおいて特定の方に維持管理の負担を強いている状況が発生しており、また、現状では適切に維持管理されているクリーンステーションでも、転出・転入や高齢化の進展、ライフスタイルの変化等によって、将来的にクリーンステーションの維持管理が困難になる可能性があることから、継続的に安定した収集方法を確立するため、戸別収集を実施していこうとするものです。<br>クリーンステーションの維持管理に伴う住民間同士のトラブルを解消するためにも、戸別収集は有効であると考えています。<br>ネットボックスのご手配等も含めクリーンステーションの維持管理については、利用者の皆様で対応いただいているところですが、市では地区ごとに担当指導員を設置しており、クリーンステーション収集の見回りや設置場所等に関するご相談に応じる等、日々活動していますので、お困りのこと等ありましたら市にご連絡ください。 |
| | | 1 | ・クリーンステーショントラブルについて、データを示すべき。 | 2024年２月現在、市内には5,160か所のクリーンステーションがあります。そのうち、収集時に清掃等の対応が必要なクリーンステーションは１週間あたり約400か所あり、全体の約８％が動物被害にあっていると見込まれます。 |
| | | 1 | ・過去にトラブルがあった。今は解消しているが、将来のことを考えると不安である。 | 今回、戸別収集の実施を検討する理由の一つとして、「クリーンステーション収集に伴う様々な負担軽減」があります。クリーンステーション収集では、一部のクリーンステーションにおいて特定の方に維持管理の負担を強いている状況が発生しており、また、現状では適切に維持管理されてるクリーンステーションでも、転出・転入や高齢化の進展、ライフスタイルの変化等によって、将来的にクリーンステーションの維持管理が困難になる可能性があることから、継続的に安定した収集方法を確立するため、戸別収集を実施していこうとするものです。 |
| 4 | 戸別経験者（モデル地区・他自治体） | 7 | ・モデル地区として戸別収集を経験したが、何も不便はなく、不法投棄もなく、住民のごみに対する意識醸成にとても効果があった。<br>・戸別収集実施自治体に住んでいた。クリーンステーションはご近所トラブルの元の一つであるため、鎌倉市に引っ越してきたときは不安であった。戸別収集を進めてほしい。<br>・海外に住んでいて、あちらは完全な戸別収集だった。いい加減な出し方をする人はなく、そんなことをすると収集してくれなかった。<br>・モデル地区として戸別収集を経験したが、ステーションに持っていく時間が省略でき時間に余裕ができた。雨の日は非常に助かる。体が不自由な方は特に歓迎していた。<br>・モデル地区として戸別収集を経験したが、景観を守るうえでも、動物被害の出ない戸別収集は有効。<br>・高齢化も進み、坂道や細い道の多い山ノ内地区は、８年前の経験もあるので速やかに戸別収集に対応できると思う。<br>・モデル地区として戸別収集を経験したが、ごみに対する意識が変わり、自己責任を強く感じるようになった。高齢者のごみ出し負担が軽減する。安否確認や防犯の役割もある。カラス被害や動物被害がなくなる。 | 以前のモデル事業実施後のアンケートでは、戸別収集を経験した方の約７割が戸別収集に対して肯定的なご意見でした。 |
| | | 1 | ・モデル地区として戸別収集を経験したが、戸別収集を希望する声を周りでは聞いたことがない。 | 今回、戸別収集の実施を検討する理由の一つとして、「クリーンステーション収集に伴う様々な負担軽減」があります。クリーンステーション収集では、一部のクリーンステーションにおいて特定の方に維持管理の負担を強いている状況が発生しており、また、現状では適切に維持管理されているクリーンステーションでも、転出・転入や高齢化の進展、ライフスタイルの変化等によって、将来的にクリーンステーションの維持管理が困難になる可能性があることから、継続的に安定した収集方法を確立するため、戸別収集を実施していこうとするものです。 |
| | | 1 | ・モデル地区として戸別収集を経験したが、住居兼店舗の場合、出入り口付近にごみを置かなければならない状況は困る。 | 住居兼店舗の場合、排出場所については個別にご相談のうえ決定したいと考えています。戸別収集の実施が確定し、市民の皆さまに周知等を行う段階になりましたら、お手数ですが市までご相談ください。 |
| | | 1 | ・方針（素案）の説明資料に掲載された写真はうまくいった家庭を中心に写されたものと思うが、逆にうまくいかなかった地区は無かったのか。その事例の写真も載せて、改善案を事例としてあげて欲しい。 | 説明資料の画像は、戸別収集を実施している藤沢市や葉山町における状況をご覧いただくために掲載したものです。戸別収集での運用が長いこともあり、他市町の戸別収集を見学した際には、例えば動物被害を受けてごみが散乱している等、うまくいっていない事例は見られませんでした。実際に本市で戸別収集を実施することとなりましたら、うまくいっていない事例があればその改善案なども含めご紹介し、市民の皆様に参考にしていただけるよう周知してまいります。 |
| | | 1 | ・モデル地区として戸別収集を経験したが、用意したごみ箱が無用の長物と化した。モデルケースに協力したことに対するお礼もなく、負担を強いられたのみで腹立たしい。 | モデル事業の実施にあたりましてご協力いただきましたこと、誠にありがとうございました。その際に、排出容器が不要になってしまったとのこと、大変申し訳ございません。また、モデル事業の終了に当たり、ご協力いただきました市民の皆さまにお礼の気持ちが伝わっていないという事実、ご指摘につきましては深く受け止め、今後の市政運営にあたり、注意するよう心がけてまいります。 |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 5 | 高齢者 | 15 | ・高齢化が進んでいるため、ごみ出し負担の軽減はよいことだと思う。<br>・鎌倉市においても高齢化が加速しています。市内に住む両親も、坂の下まで重いカン・ビンや、伐採した枝葉、段ボール類を持って何度も往復するのは大変だと言っている。<br>・認知症のせいか、ごみ出しルールを守れないケースが発生している。戸別収集であれば排出者が明確であるため指導しやすい。<br>・高齢者はクリーンステーションまでごみを運ぶことが年々苦痛になってきている。<br>・高齢化が進み、お年寄りの自宅ではごみ屋敷に近い状態のところも散見されるが、戸別収集であればこの状態が解消されると思う。（昔のように近所で助け合いができれば一番であるが…）<br>・障害者や、高齢化が顕著な市民のためにも戸別収集は役立つと思う。<br>・クリーンステーションが遠い高齢者は大変だと思う。<br>・クリーンステーションまで距離があり、加齢と共に、ゴミ出しができなくなることを懸念している。鎌倉市は高齢者が多く、坂が多いため、身体の衰えと共に現在のゴミ出しシステムが早晩破綻するのは明らかである。<br>・近所には高齢者が多く、網かごの組み立てができないため、私が夜や早朝に組み立てている。私が不在の時は組み立ててくれる人も少なく、ごみが出しにくいという話を聞いている。<br>・高齢化が進み、ごみの出し方や曜日を間違える人が増えてきている。今後も高齢化で正しく出せない方が増え、その後始末を自宅前にクリーンステーションがある人だけが背負うのは不公平である。<br>・後期高齢者にとって戸別収集は負担軽減になって助かります。<br>・高齢者や身体弱者への福祉サービスという点からも戸別収集の方がベターである。<br>・高齢者は重たい不燃ごみをクリーンステーションまで運べない。 | 戸別収集を実施する目的の一つとして、高齢者等のごみ出し労力の軽減という住民福祉の観点があります。2025年問題と呼ばれる高齢化を迎えようとする今、10年後も、20年後も持続可能な収集体制を構築していく必要があると考えています。 |
| | | 3 | ・ごみ出しは高齢者の運動不足解消になったり、地域とのふれあいにつながる。<br>・クリーンステーションへのごみ出しは高齢者の安否確認になる。 | ごみ出しによる運動機会やコミュニティがあることは認識しております。戸別収集の導入によりそうした機会の減少が見込まれますが、一方でクリーンステーションの維持管理等によるご負担が減少するものと見込まれますので、これまで清掃等に充てていた時間をコミュニティの促進に充てていただくことが可能になると考えています。 |
| | | 1 | ・高齢の親にとって、玄関から門外までポリバケツを移動するのは負担が大きい。 | モデル事業や他市の例を見ますと、排出容器については常時同じ場所に置いているケースもあれば、毎回出し入れしているケースもあることが確認できており、それぞれのご家庭の状況に応じて適した方法をお選びいただければと考えています。<br>なお、ご高齢や障害等を理由にごみ出しが困難な方への支援策として、市では戸別収集とは別に「声かけふれあい収集」を実施しております。対象となる方は一定の条件（https://www.city.kamakura.kanagawa.jp/gomi/koekake250401.html）を満たす必要がありますので一度市にご相談ください。 |
| | | 1 | ・モデル地区として戸別収集を経験し、自宅そばにクリーンステーションがある。高齢者対象というが、現状さほど問題はなく、将来的にも戸別にすれば効果があるとは思えない。 | 戸別収集を実施する目的の一つとして、高齢者のみではなく、子育て世帯や多様なライフスタイルのもとで生活する市民のごみ出し労力の軽減という住民福祉の観点があります。2025年問題と呼ばれる更なる高齢化を控えている中、現状では適切に維持管理されているクリーンステーションも、将来的にそれが困難になる可能性があるため、安定かつ継続的にごみや資源物の収集を行っていくために、戸別収集を実施できる体制を速やかに構築する必要があると考えています。 |
| | | 7 | ・声かけふれあい収集の条件を見直す等し、もっと拡大してほしい。<br>・高齢者でも、圧倒的に自分で出せる人の方が多いと思う。 | 声かけふれあい収集は高齢者や障害者を対象とした安否確認を兼ねたごみ収集であり、福祉目的という面では一定の効果をあげていますが、収集効率という点において課題があります。一方、戸別収集はあらゆる世代のごみ出しの負担軽減を行うことを目的としており、収集には効率性を求める必要があることから、両者を併用しながら、安定的なごみ処理体制の構築を図ってまいりたいと考えています。また、戸別収集を検討する理由の一つである、クリーンステーション収集に伴う様々な負担の軽減については、ふれあい収集の拡大では解消できないことから、2025年問題と呼ばれる高齢化を迎えようとする今、10年後、20年後も対応できる安定的・継続的な戸別収集の体制を構築していきたいと考えています。 |
| 6 | 収集事業者 | 3 | ・モデル地区として戸別収集を経験したが、収集作業員の方はとても感じがよく、感謝の気持ちでいっぱいであった。<br>・収集作業員とコミュニケーションがとりやすくなり、感謝の気持ちを伝えたり、ごみの出し方を気を付けようという気持ちが生まれた。 | クリーンステーション収集と比較して、戸別収集は市民の皆さまと直接触れ合う機会が増えることが予想されるため、収集作業員の接遇能力は大事であると認識しています。<br>収集事業者については、一定のサービスレベルを確保するため、単純に価格のみで判断するのではなく、事業者の実績や体力、従業員への教育体制などについて評価し、その総合得点により事業者を決定する公募型プロポーザル方式等で業者選定を実施します。 |
| | | 18 | ・モデル地区として戸別収集を経験したが、収集作業員はずっと走りながら収集していて大変そうだった。<br>・鎌倉は傾斜が多く、個々に階段等を上っていたら収集作業員は大変では。<br>・夏場が心配。<br>・収集作業員の滞在時間や手間が増えるだけでメリットを感じられない。<br>・働き方改革、労働人口の減少という点からみても違った方向に行っているのではないかと思う。ただでさえ大変な作業をされている方にさらなる負担を押し付けるのには納得がいかない。<br>・労働者を確保できるのか。 | ご指摘のとおり、戸別収集では収集箇所数が増えることから作業員の負担は増えることが予想されるため、車両台数や人員数の算定に当たっては、経費の抑制を常に意識しつつも、実際の作業に無理が生じないよう配慮いたします。<br>また、収集事業者との契約に当たっては、収集事業者が作業員や車両の手配ができるよう、十分な準備期間を含めた複数年にまたがる契約とすることを想定しています。 |
| | | 1 | ・廃棄物収集業務に従事している。業界全体の平均年齢が上昇しており、ドライバーの担い手不足や賃金問題等もある。例えば、免許取得に必要な費用の一部を補助する制度の導入など、市からの積極的な経済支援を提案する。また、次世代のドライバーを育成するための時間や資金を十分に計算し、予算化することを強くお願いしたい。 | 本市の家庭系ごみ収集事業については、民間事業者に委託していますが、委託料については各事業者から提出された見積金額を参考に設定しており、その金額には各事業者側の雇用や人材育成に関する経費等についても考慮したうえで算出されたものであると認識しています。<br>ご提案いただいた補助制度等については他市の取組状況等を研究してまいりたいと思いますが、市の予算を執行するにあたっては慎重な判断が必要となることをご理解願います。 |
| | | 2 | ・事業者選定では、受託する法人にかかる税金の納税場所、地元での雇用や受託業者のもたらす地域への経済効果を考慮して「市内に本店を置く事業所」に限定して選定していただきたい。<br>・収集事業者について、市内事業者ではなく、他市なのはおかしい。 | 市外の事業者も候補に入れ、競争原理を働かせることによって経費の抑制を図る所存ですが、公募型プロポーザルを実施する際は市内事業者であることを加点対象とする等検討しています。 |
| | | 1 | ・人手不足が深刻な問題になっている中、市は事業者を確保できるのか。相当な予算をつけなければ適正な報酬を支払えないのでは。 | 収集事業者については、一定のサービスレベルを確保するため、単純に価格のみで判断するのではなく、事業者の実績や体力、従業員への教育体制などについて評価し、その総合得点により事業者を決定する公募型プロポーザル方式等で業者選定を実施します。<br>予算計上にあたっては、複数社から見積書を徴収し、適正な経費を見込むなど、過大な財政負担を招くことの無いようにしたいと考えております。 |
| | | 1 | ・複数社から選定するべき。 | 事業者選定にあたっては、単純に価格のみで決定せずに、一定のサービスレベルを確保するため公募型プロポーザル方式等により選定する予定です。 |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 7 | 収集車両 | 4 | ・鎌倉は道路が狭く、収集車が入ってくるのは大変である。<br>・安全面では危険性が増し、環境面では排ガスや騒音問題が増加することも懸念される。中長期的には車両のEV化も必要では。 | 戸別収集では市中を走行する車両が増え、それに応じて作業員の増員も発生しますが、車両や人員の効率的な運用を極端に追及するために安全性が確保されない状況はあってはならないと考えています。そのため、１台の車両に２人以上が乗車し、たとえば収集車をバックする際は、１名は収集車から降りて周囲を確認しながら行うなど、安全確保を最優先に体制を構築してまいります。<br>ご指摘のとおり、収集車両のEV化も必要であると認識しておりますが、航続距離や充電時間・設備等の課題があると認識していることから、引き続き調査研究を進めてまいります。<br>なお、地区ごとの特性に応じた車両を配置することを徹底し、たとえば狭隘地区であれば軽ダンプ車を活用するなどの対応を図ります。また、収集車が入ることができない場所については、作業員が歩いて収集します。 |
| | | 3 | ・車が増えればCO2が増える。 | 街中を走る車については増加するものの、戸別収集により分別が進むことにより燃やすごみの減量が進み、焼却量が減少することで、焼却に伴い排出されるCO2も減少することが見込まれます。環境省の示した基準で算出したところ、現行の収集車両から排出される二酸化炭素が110トン／CO2であるのに対し、モデル事業実施時に想定されたごみの減量効果約700トン分の焼却時に発生する二酸化炭素が270トン／CO2であることから、仮に収集車両が２倍になったとしても二酸化炭素の発生量は減少することが見込まれます。 |
| | | 1 | ・個人的にはメリットが大きいのですが、地域の形状が道路が狭く急坂道で車の行き交い、収集車がとまる場所の問題が心配です。 | 過去に収集業務を担当していたベテランの職員が実際に市内を回り、一時停止場所等の検討を進めております。実際に戸別収集を実施することになった段階で、収集車の一時停止場所等に関してご心配なことがありましたら市までご相談ください。 |
| | | 1 | ・収集車の小型化も市の道路環境上仕方ないかとは思いますが、年末年始明けのゴミ大量発生時へのイメージ、対策もしっかりなされているのでしょうか。 | 年末年始の対応については、これまでの排出量等の実績を踏まえ、混乱を招くことの無いよう適切な収集に努めてまいります。 |
| 8 | 渋滞 | 4 | ・収集車両の増加は、狭い鎌倉の道に交通渋滞の種をまくだけでは。<br>・交通量・事故の増加が懸念される。<br>・一方通行の狭い道では、ごみ収集車の通行のために、宅配トラックが無断で私有地に駐車するのではと心配である。 | 平成26年に戸別収集モデル地区（七里ガ浜・鎌倉山・山ノ内）を対象に実施したアンケートでは、「車両が増えて渋滞が問題ないか」という問いに対して、変わらない･･･78.5%、どちらともいえない･･･15.2%、増加した･･･2.7%、緩和した･･･2.3%という結果でした。ごみ収集のために一時的に停車することはありますが、なるべく最小限にとどめるとともに、必要に応じて周辺住民の皆様にあらかじめその旨説明する等、丁寧な対応を図ってまいりたいと考えています。なお、モデル事業では、ご懸念されているような事故は発生していません。 |
| 9 | 道路環境（安全） | 1 | ・クリーンステーションがあることで車や歩行者の通行のさまたげになっている場所がある。 | 燃やすごみを戸別収集に移行する場合、一部エリアを除き、週２回はクリーンステーションにごみが排出されない状況となるため、道路交通上の支障の緩和が期待できます。 |
| | | 1 | ・狭い道が多く、普通の車でもすれ違いが難しいところが多いのに、そうした道に今後さらに収集車が入り込むことは不安である。 | 地区ごとの特性に応じた車両を配置することを徹底し、たとえば狭隘地区であれば軽自動車を活用するなどの対応を図ります。戸別収集では市中を走行する車両が増え、それに応じて作業員の増員も発生しますが、車両や人員の効率的な運用を極端に追及するために安全性が確保されない状況はあってはならないと考えています。そのため、１台の車両に２人以上が乗車し、たとえば収集車をバックする際は、１名は収集車から降りて周囲を確認しながら行うなど、安全確保を最優先に体制を構築してまいります。 |
| 10 | スケジュール | 2 | ・燃やすごみ以降の品目拡大について、スケジュールを示してほしい。 | 燃やすごみの戸別収集を通してノウハウを蓄積し、他品目における戸別収集導入時に過大な財政負担を招くことの無いようにしたいと考えております。燃やすごみの戸別収集の実施が確定し、その運用の中で他品目についての見通しがたった段階で速やかに市民の皆さまにお知らせしてまいります。 |
| | | 1 | ・令和7年1月より実行を目標とする。行政上、財務上の制約があれば4月からとすることも止むなし。可能なかぎり早急の実施を希望する。 | 戸別収集の実施が確定しましたら、出来る限り速やかに開始したいと考えておりますが、収集事業者の体制構築等の課題があるため、初年度は概ね１万世帯を対象に燃やすごみ戸別収集を実施し、翌年度から全市での燃やすごみ戸別収集を実施する方向で検討を進めております。戸別収集の実施に当たっては、クリーンステーション収集よりも収集車や作業員の数を増やす必要がありますので、事業者の雇用のタイミング等を考慮し、開始月を決定してまいります。 |
| 11 | 不適正排出 | 10 | ・分別ができていないため、クリーンステーションにごみがいつまでも残っていることがある。<br>・クリーンステーションにペットボトルやビール缶をポイ捨てしていく人がいる。<br>・アパートが増えたせいか、分別ルールが守られていない。<br>・クリーンステーションでは不適正な排出をしている方への指導が困難であるため、戸別収集により責任の明確化を望む。（借家やアパート転入者は意識も希薄で指導に苦労している）<br>・現状、クリーンステーションでも、不適正な排出により、動物被害やペットボトルが飛ばされてしまったり、資源ごみが混ざった状態で排出されたりしている。個人が個別で出したら混乱が生じ、回収側は 倍の時間と労力 を要することになりかねない。<br>・戸別収集ではルールを守れない家が続出する。<br>・夜中に他人の玄関先にあるごみ箱に捨てる人がいるかもしれない。動物被害も。 | 戸別収集の実施により、排出者が明確になるため、一人ひとりの責任感が強まり、ルール違反が起こりにくくなることが期待されます。また、一部品目からとはなりますが、クリーンステーションにごみや資源を出すことが少なくなることで、周辺の美化につながることや、その維持管理の負担が軽減される効果も期待できます。 |
| | | 1 | ・自分のうちのごみ箱に他人がごみを入れる可能性があるのでは。クリーンステーションでも、他の家の有料ごみ袋に自分のごみを入れている人がいる。 | 戸別収集を実施することとなり、自宅前の排出容器にごみを捨てられるようなケースが発生しましたら、市にご連絡ください。対応策について調整させていただきます。 |
| 12 | ごみ出し負担 | 8 | ・乳幼児がいると、自宅敷地内にごみ出しできるのは便利である。おむつも都度、外のごみ箱に捨てにいけたのでにおいも気にならなかった。<br>・クリーンステーションまで遠く、高齢者だけでなく、健康で若い人でも負担が大きい。<br>・足腰が弱り、クリーンステーションまで持っていくのが大変になった。 | 戸別収集を実施する目的の一つとして、高齢者や子育て世帯、多様なライフスタイルのもとで生活する市民のごみ出し労力の軽減という住民福祉の観点があります。収集事業者の体制やコスト面等の課題があるため、戸別収集の実施に当たっては一部品目から徐々に拡大していくことを想定しておりますが、将来的には全品目を対象とした戸別収集の実施を目指しています。 |
| 13 | 排出者責任 | 7 | ・クリーンステーションでは、分別ができておらず、啓発用シールを貼ったごみが残ったままになることがある。<br>・排出者が特定できることで、出し方やごみ削減への市民の責任感の醸成につながると思う。<br>・排出者が明確になることでクリーンステーションに残されたごみがなくなりトラブルと町の美化につながる。<br>・ごみ出しのルール違反が起きにくくなると思う。 | 戸別収集の実施によるメリットとして、排出者が明確になることで分別が促進されるとともに、一人ひとりの責任感が高まりルール違反が起こりにくくなることが期待されます。 |
| | | 4 | ・各家庭で動物被害対策をすることは、新たな負担になる。<br>・各家庭がルールを守れない。<br>・自宅前にごみが散らかっても何もしない人がいるのではという懸念がある。 | 動物被害について、各ご家庭で新たに排出容器をご用意いただく必要は生じますが、クリーンステーションにおける動物被害は減少するため、クリーンステーションの維持管理に係る負担が軽減されることが期待できます。戸別収集では排出者が明確になるため、ルールを守っていない場合に的確に指導しやすくなるというメリットがあります。そのため、ルールを守ることができていない場合や、動物被害対策等が不十分な場合にも速やかに改善にむけて働きかけることが可能です。モデル事業実施後のアンケートでは、「クリーンステーション収集の時に比べ、カラス等の被害に変化がありますか」という質問に対して、「減った」と回答した方が59.1%、「変わらない」と回答した方が24.5%である一方で、「増えた」と回答した方が6.4%、「どちらともいえない」と回答した方が6.1%いました。アンケート結果からも各自がご自身のごみの排出に責任を持っていただく戸別収集の実施により、動物被害は減少することが示されております。 |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| | | 2 | ・各家庭のゴミに責任というならば、ゴミ袋に名前を記入して出すのも一つ。<br>・クリーンステーションごとの使用者の名前の掲示とゴミ袋への名前の記載の一致の徹底（長野上田市での実施例あり）を行い、防止する。 | 他市では名前を記入しているケースがあることは認識しておりますが、プライバシー等の課題もあるため、今のところ本市で導入する予定はありません。 |
| | | 1 | ・「1人ひとりの責任感が高まり、ルール違反が起こりにくくなる」とのことだが、抽象的な言い方ではなく、具体的にどういうルール違反をやめてほしいと説明した方がよい。 | 具体例も交え、市民の皆様にわかりやすい説明に努めてまいります。 |
| 14 | ごみ箱 | 1 | ・事前にゴミ入れ容器の例などを紹介してもらえると、戸別収集開始のハードルが下がるのではないかと思う。 | 排出容器については、モデル事業や他自治体における利用状況等をお知らせしたいと考えており、各ご家庭がそれぞれの世帯人数や外観に適したものをご用意いただけるようご案内していきたいと考えています。 |
| | | 11 | ・以前、戸別収集実施自治体で経験しているが、排出場所とごみ入れ容器が必須であること、ごみ入れ容器が風で飛ばされる、ごみ入れ容器を収集後に撤去する必要があるというデメリットがあった。<br>・各家庭でごみ箱を用意する必要がある。<br>・仕事がある方はバケツを出したままとなる。海に近い家は強風でバケツが飛ぶため、対策が必要となる。<br>・家の前にごみ箱を設置した場合、勝手にごみを捨てられることが考えられる。<br>・ごみ箱を洗浄する負担が増える。<br>・ごみ箱を通行の妨げにならない位置に確保することは難しいと考える。<br>・モデル地区として戸別収集を経験したが、風に飛ばされ、容器を二つダメにした。<br>・各玄関前にごみを袋状態で置くと動物被害にあうため、市民は見張らなくてはならないことになり手間がかかる。 | 動物被害対策のためにも、蓋のついた排出容器をご用意いただきたいと考えています。モデル事業や他市事例では、戸別収集の導入により動物被害は減ることが実証されておりますが、もし動物被害等でごみが散乱した場合は、各ご家庭でご対応いただきます。排出容器については蓋がしまるものであればよいため、モデル事業や他市事例では、使わなくなった衣料ケースなどをご利用されているご家庭もありました。戸別収集の実施によりご負担をおかけする部分は発生いたしますが、ごみ出し労力の軽減など、それらを上回るメリットをご提供できるものと考えております。なお、排出場所についてご心配がありましたら、市にご相談ください。強風対策につきましては、排出容器の中に重しを入れる等のご対応をお願いいたします。<br>戸別収集を実施することとなり、自宅前の排出容器にごみを捨てられるようなケースが発生しましたら、市にご連絡ください。対応策について調整させていただきます。 |
| | | 1 | ・戸建て住民は、戸別収集に対応するための資材を準備しなければならず、費用負担もある。 | 排出容器については蓋がしまるものであればよいため、モデル事業や他市事例では、使わなくなった衣料ケースなどをご利用されているご家庭もありました。 |
| | | 1 | ・長期外出時に、ごみ容器が置きっぱなしになり、外出していることがわかってしまう。近くのクリーンステーションを一時的に利用できるような、選択可能な仕組みをお願いしたい。 | 過去に鎌倉市で実施したモデル事業や他市事例の排出容器状況については、都度出し入れをしている世帯と常に道路沿いに置いている世帯とがあることが確認できています。モデル事業実施時のアンケートでは、「地域の治安は？」という問いに対して、「地域の治安に変化はない」と回答した方が71.2％で「地域の治安が悪くなった」と回答した方の2.5％を大きく上回る結果となりました。また、モデル事業当時に、警察や先行自治体に問い合わせし、戸別収集により犯罪が増えたということはなかったことを確認できております。戸別収集が開始しましたら、戸別収集対象品目については一時的にでもクリーンステーション収集を行う想定はありません。長期間不在となる場合のごみ出しについてお困りのことがございましたら、市にご相談ください。 |
| | | 1 | ・各家に郵便ポストがあるように宅販ボックスをかねたゴミボックスの義務化の町になるとよいのでは。 | 宅販ボックスをかねたゴミボックスの義務化は現状考えておりませんが、排出容器については、モデル事業や他自治の利用状況等をお知らせしたいと考えており、各ご家庭がそれぞれの世帯人数や外観に適したものをご用意いただけるようご案内していきたいと考えています。 |
| | | 3 | ・ごみ箱が風で飛ばされ、迷惑や事故につながらないか。固定できるごみ箱が設定できればベストである。<br>・すべての市民が動物に荒らされない丈夫なごみ箱を置くかどうか。 | 動物被害対策のためにも、蓋のついた排出容器をご用意いただきたいと考えています。モデル事業や他市事例では、戸別収集の導入により動物被害は減ることが実証されておりますが、もし動物被害等でごみが散乱した場合は、各ご家庭でご対応いただいております。また、排出場所や強風対策についてご心配がありましたら、市にご相談ください。 |
| | | 1 | ・戸別収集が始まると、プラスチックで作られた収集カゴの劣化で、より多くの放置プラスチックが発生することを懸念している。 | 本市のモデル事業や他戸別収集ではプラスチック以外の素材でできた排出容器をご利用になっている事例も多数ありました。戸別収集を実施することとなりましたら、そうした排出容器の例等も提示してまいりたいと考えています。 |
| | | 1 | ・バケツやネットの購入費用の支援金（クーポン等）を配布していただきたい。 | 戸建て住宅居住者へのバケツやネットの購入費用の支援金を設けることは現状考えておりません。 |
| 15 | 景観 | 3 | ・長時間、大量のごみがクリーンステーションに詰め込まれたひどい状況が改善され、市の美観に貢献する。<br>・街の美化促進に貢献する。<br>・汚いクリーンステーションはまたすぐに汚くなる。 | モデル事業実施時のアンケートでは、「ごみ箱が家の前に設置されるのは、景観が悪くなるのでは」という問いに対して、「戸別収集で景観が良くなった」と回答した方が44.0％で「戸別収集で景観が悪くなった」と回答した方の17.9％を上回る結果となりました。モデル事業実施時には、動物被害を避けるため、それぞれのご家庭に応じた動物被害対策を講じていただいており、多くのご家庭では蓋つきのごみ箱などに入れて排出されていました。袋をそのまま置くような出し方はほぼないことを考えると、景観への影響も抑えられるものと考えています。 |
| | | 4 | ・鎌倉という観光地において、家の前にいろいろな色形のバケツが置かれるのはいかがなものか。<br>・玄関先にバケツが並ぶのは景観が悪くなるのでは。<br>・毎朝通勤や通学で見る街並みがゴミで溢れていたらよい気持ちにはならない。 | モデル事業実施時のアンケートでは、「ごみ箱が家の前に設置されるのは、景観が悪くなるのでは」という問いに対して、「戸別収集で景観が良くなった」と回答した方が44.0％で「戸別収集で景観が悪くなった」と回答した方の17.9％を上回る結果となりました。モデル事業実施時には、動物被害を避けるため、それぞれのご家庭に応じた動物被害対策を講じていただいており、多くのご家庭では蓋つきのごみ箱などに入れて排出されていました。袋をそのまま置くような出し方はほぼないことを考えると、景観への影響も抑えられるものと考えています。 |
| 16 | 排出場所 | 1 | ・長い階段を上ったところに敷地の門があるため、階段の一番下にケースを用意するのであれば景観が悪くなる。 | 長い階段の上にご自宅がある場合等についても、敷地の門まで収集に行く想定で、車両及び人員数の見込みを立てております。なお、階段等が私道に当たる場合は、事前に通行の許可をお願いをさせていただくこともありますので、ご協力の程、よろしくお願いいたします。 |
| | | 6 | ・排出スペースがない。（車の出入りができなくなる）<br>・狭い路地の奥にある家は排出場所がない。<br>・戸別収集では、隣人と排出場所の位置で喧嘩になりかねない。 | 排出場所にお困りの際は、現地確認のうえ、位置を決定できればと考えています。戸別収集の実施が確定し、市民の皆さまに周知等を行う段階になりましたら、お手数ですが市までご相談ください。 |
| | | 2 | ・公道に面してないがパッカー車が奥でUターンできる私道の場合、私道に面する場所にゴミ箱を置けばいいのか。公道に面する場所に限るのか。<br>・自宅門扉の前、もしくは玄関前にごみを出せない方（門扉や玄関の構造上）はどのように対応するのか。 | 私道への侵入を許可していただけるようであれば、私道へ排出したごみを収集する場合もあります。排出場所については私道や周辺状況によって対応が変わりますので、戸別収集の実施が確定し、市民の皆さまに周知等を行う段階になりましたら、お手数ですが市までご相談ください。 |
| 17 | プライバシー | 4 | ・収集作業員に家を知られてしまう。<br>・ごみの開封によるプライバシーの侵害の懸念がある。<br>・ごみを開けて見られる、持ち去られる。クリーンステーションであれば地域の目があるが、戸別では気づかれにくい。<br>・たとえ収集作業員だとしても、ごみの内容を知られるのは気持ちの良いものではない。 | プライバシー保護の観点では、蓋が閉まる排出容器をご用意いただくことで、一定の効果が得られるものと考えております。収集事業者の選定に当たっては、一定のサービスレベルを確保するために従業員への教育体制等も評価項目の一つとする予定です。なお、効率よくごみの収集を行う必要があるため、一つ一つのごみに対応する時間は非常に限られるものとなります。 |
| | | 1 | ・戸別収集になった場合、収集作業員がいちいち内容をチェックする余裕があるとは思えない。収集業者とは契約で秘密厳守にするから実施可能との見解か。 | 収集事業者とは、業務の内容や業務に関して知り得た個人情報等については慎重に取扱うとともに、他に漏らしてはならない旨契約書に定めます。収集事業者の選定に当たっては、一定のサービスレベルを確保するために従業員への教育体制等も評価項目の一つとする予定です。 |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 18 | 防犯 | 4 | ・ごみ容器が片づけられていない家は留守がわかり、防犯を考えるうえでも安心できない。<br>・留守がわかってしまい、空き巣の被害は増えると思われる。<br>・ごみ箱を中に置く場合、不在時でも敷地内に収集作業員が入ることになり不用心となる。<br>・前回モデル事業を実施した際の課題とされた防犯の問題（排出容器を出したままだと留守がわかる）はどう解決したのか。 | 過去に鎌倉市で実施したモデル事業や他市事例の排出容器状況については、都度出し入れをしているご世帯と常に道路沿いに置いているご世帯とがあることが確認できています。モデル事業実施時のアンケートでは、「地域の治安は？」という問いに対して、「地域の治安に変化はない」と回答した方が71.2%で「地域の治安が悪くなった」と回答した方の2.5%を大きく上回る結果となりました。また、モデル事業当時に、戸別収集により犯罪が増えたということはなかったことを警察や先行自治体からも確認できております。<br>留守がわかってしまうという点については、自家用車が駐車スペースに停まっているか否かでも同じことがいえると考えられるため、モデル事業の結果もあわせて、問題無いものと認識しています。<br>なお、戸別収集の実施には様々なメリットがあると考えており、作業員が隈なく市内を歩き回ることから防犯機能としての副次的効果も期待できるものと考えています。 |
| 19 | 事業系ごみ | 2 | ・事業所がクリーンステーションにごみを出せなくなり、燃やすごみが減少する。<br>・収集作業員は袋を開けて中身を確認できないので、事業者が故意に産業廃棄物を混入させ違法に処分する等の不正行為の温床になりえる。 | 戸別収集を実施するメリットの一つとして、事業系ごみの適正排出に繋がる効果が期待できます。本来、事業所から排出されるごみは「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」の原則に従い自己処理が原則ですが、ごみの排出量が少ない事業所は許可業者と契約ができず地域のクリーンステーションに排出してしまっている現状があります。戸別収集の実施に伴い、そうした事業者はごみの排出場所がなくなることから、少量排出事業所の収集制度を設け、事業者には事業系指定収集袋の購入により適正な負担を求めたうえで、家庭系ごみと同時に戸別収集を行っていきたいと考えています。 |
| 20 | 分別 | 2 | ・戸別収集によりごみの減量が見込めるとの説明が納得できない。個人レベルでさらなる分別を促す積極的なフィードバックを行わないと減量は見込めないのでは。<br>・認知症などの要介護者や一部の障害者は意図的に分別を間違えてるわけではないため、意図的に分別を間違えてる人の特定は困難である。鎌倉市側が分別方法を分かりやすくする事から始めるべき。 | 鎌倉市が行っている家庭系燃やすごみの組成調査では、直近の結果として、燃やすごみとして排出されているごみの中に資源物が約24%含まれていました。戸別収集では排出者が明確になりますので、もし分別ができていない燃やすごみが排出された場合は収集せずにダメシールで分別ができていないことをお知らせします。そうした取り組みの結果、燃やすごみへの資源物の混入が少なくなる見込みとなっており、これについては過去のモデル事業や戸別収集を実施している他市町の実績からも実証されております。<br>分別については、収集後の中間処理技術の進歩に応じて分別区分の見直し等を図っていきたいと考えており、市民の皆さんの分別に係る負担を少しでも軽減できるよう取り組んでまいります。 |
| 21 | ごみ有料化 | 1 | ・迅速に戸別収集を実施するべき。有料化のみ先行するのは約束違反である。 | 戸別収集と家庭系ごみの有料化を同時実施し、排出者責任の明確化と経済的なインセンティブによるごみの削減を目指していましたが、費用に対する削減効果や市民理解の更なる醸成が必要である等、様々な御意見があったことから戸別収集の実施を見送り、現在に至っています。 |
| | | 3 | ・一部のルールを守らない人の為にゴミは有料化になり、きちんとルールを守っている人まで高いゴミ袋を購入しなければ、ゴミを出せなくなった。<br>・有料袋は廃止するべき。 | ごみ有料化は、市民の皆様に、ごみを出す量に応じて、ごみ収集等のごみ処理に係る費用の一部を負担していただく仕組みであり、ごみの減量に寄与する施策であることから引き続き実施してまいります。 |
| 22 | 地域コミュニティ | 10 | ・認知症などの理由でごみの分別ができなくなる方がいるが、近所で協力して声をかけあう努力をしてきた。<br>・朝のごみ出しは近隣のコミュニティ醸成に寄与している。<br>・クリーンステーション収集ではなくなると、そのことがまた町内会への入会を遠ざける理由にもなってしまう。若い世代が戸別収集化により更に“個別化”していくことに危機感を覚える。 | ごみ出しに伴う地域コミュニティが形成されていることは認識しております。戸別収集の導入によりそうした機会の減少が見込まれますが、一方でクリーンステーションの維持管理等によるご負担が減少するものと見込まれますので、これまで清掃等に充てていた時間をコミュニティの促進に充てていただくことが可能になると考えています。<br>なお、モデル事業実施時のアンケートでは、67.9%の方が地域のコミュニケーションの「変化はない」とお答えになっており、「悪くなった」とお答えになった方は10.5%という結果でした。 |
| 23 | 共同住宅 | 7 | ・共同住宅は戸別（自宅ドア前）収集にならないのか。<br>・マンション住まいであるが、戸別収集に賛成する。<br>・共同住宅にはメリットがないという反対意見があるが、強風の日に近くのクリーンステーションから共同住宅の敷地内に散らかったごみが飛んでくることもありえる。<br>・クリーンステーションが荒らされると、住民が散らかった通りを歩かなくてはいけないことになり、夏場は悪臭、害虫が発生して共同住宅敷地内に入ってくることも考えられる。 | マンションについては、セキュリティの問題もあり、建物内への侵入に対して抵抗がある方がいると考えています。また、自宅ドア前に排出していただくとした場合、共有部である廊下に排出容器を設置していただくことになってしまいます。一部のマンションでは、24時間排出が可能な集積所を管理しているところなどもありますが、戸別収集の場合は朝８時半までにごみを排出していただくこととなりますので、サービスの低下につながる恐れもあります。以上の理由から、集合住宅については集積所での収集を継続する方向です。<br>クリーンステーションに燃やすごみが排出されなくなることで、動物等に荒らされた燃やすごみの側を通らざるを得ない状況が無くなることや通りすがりに見かけるクリーンステーションに燃やすごみが無い絵をイメージしていただくと、街が綺麗になるメリットを感じていただくことができると考えています。<br>中小規模の共同住宅で近隣の戸建住宅と共用のクリーンステーションを使用している場合などにおいては、戸別収集により排出場所が分かれることとなりますので、以前より排出が容易になると考えられます。<br>他自治体では、集合住宅を対象に、ごみ集積所の管理を充実させるための支援補助金を設けているケースもあるため、そうした取り組み等を参考にしながら検討してまいります。 |
| | | 1 | ・マンションでのクリーンステーション利便性向上に資する対策を調査の上実施してほしい。 | 大規模マンションを対象にアンケート調査を行ったところ、殆どのマンションにおいて既存の集積所スペースで日常のごみ処理について対応できていることが確認できています。他自治体では、集合住宅を対象に、ごみ集積所の管理を充実させるための支援補助金を設けているケースもあるため、そうした取り組み等を参考にしながら検討してまいります。 |
| | | 2 | ・専用の集積所がない共同住宅はどうするのか。 | 専用のクリーンステーションがない共同住宅は、当該共同住宅専用のクリーンステーションを新たに設置していただきます。専用クリーンステーションからは戸別収集対象品目のみを収集し、他の資源物等は従来から利用されているクリーンステーションから収集しますが、戸別収集対象品目の拡大に伴い、徐々に共同住宅専用クリーンステーションに排出していただく割合が増えていきます。<br>共同住宅専用のクリーンステーションの設置に当たって、建物オーナーや管理会社等に依頼する際は、ごみの出し方・分け方についてあらためて入居者に周知徹底していただくようあわせて依頼します。 |
| 24 | エリア | 1 | ・課題が多い地域から進めてほしい。 | 戸別収集する地域については、市民周知の状況、収集事業者の作業員や車両手配の準備期間を考慮し、一部地域を対象として先行的に実施したいと考えています。その場合の対象地域の選定にあたりましては、戸別収集によるメリットを最大限活かすために、高齢化が進む地域や子育て世帯が多く居住している地域、過去にモデル事業を経験しており円滑な導入が可能と思われる地域での実施を検討するなど、優先項目を設定し、対象地域を決定します。 |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| | | 15 | ・クリーンステーションまで捨てに行くのが困難な高齢者が一定の割合以上ならその地域は全世帯戸別収集にしてはどうか。<br>・先行実施エリアの想定があるが、全戸実施を急いでほしい。<br>・戸別収集かクリーンステーション収集か、選択制にしてほしい。P13：戸別収集する地域について「③施設までの運搬距離が短いなど、制度導入当初に市職員が即座に対応できる環境」とあるが、「施設」とは何か。<br>「④収集日や収集量の偏りを是正し、平準化に寄与するエリア」とあるが、意味不明。このページの目的は先行地域に漏れた地域からの苦情対策と思われるが選定基準を明確にできないならばランダムサンプリングにした方がよい。<br>・戸別収集に適した地形であるか、真に必要な世帯かどうかの判断が必要。<br>・地区ごとに戸別収集かクリーンステーション収集に分けてほしい。<br>・家庭の都合でクリーンステーションでの収集を希望する方もいると思うので、少数意見の拾い上げも大切では。<br>・クリーンステーション収集でも問題ない地域は、諸問題を解決する方法があるのではないか。<br>・戸別収集とクリーンステーション収集の選択制を想定しているかもしれないが、全市において戸別収集へ一体化することが最善だと思う。<br>・１年後実施とするよりも相手から希望されて実施する形もいいのでは。 | 収集事業者の準備等を考慮し、開始初年度は一部エリアから開始する方向で検討を進めております。<br>市内全域で戸別収集の方とクリーンステーション収集の方が混在する状況は、効率が低下するだけでなく、取り残し等の発生につながる恐れがあります。<br>複数の先行自治体の状況を踏まえ、戸別収集対象品目でもクリーンステーションを引き続き使用したいという声に対しては、クリーンステーションが問題なく管理できており、利用されている方全員が同意する場合に限り、利用を認める制度について検討いたします。その場合、市全体の収集を原則戸別収集とする中での継続利用希望となることからクリーンステーションでトラブルが生じた場合にはご利用の方々でご対応いただくこととなります。 |
| | | 1 | ・各地区でモデル事業（試験的運用）を実施し、その地区に合った方法を見つけるべき。 | 本市における戸別収集のモデル事業については、平成24年（2012年）10月から平成28年（2016年）2月まで鎌倉市内の一部地区で実施済みであり、今回の実施方針（素案）にもそこで得た知見が反映されています。 |
| 25 | 対象品目 | 16 | ・持って歩くことが大変な紙ごみや、粗大ごみにはならない大きめの家電などもすぐに対応していただきたい。<br>・早期にすべての品目を戸別収集してほしい。<br>・燃やすごみのみではなく、容器包装プラスチックもセットで戸別収集してほしい。<br>・燃やすごみだけでなく、出し方の間違いが多い燃えないゴミを同時に実施してほしい。<br>・全地域・全品目での戸別収集を望む。<br>・ルールを守らない方がいるので、資源ごみもすべて戸別収集を希望する。<br>・燃えるごみが優先であることは理解するが、大量の草木やプラスチックごみも早期対応を希望する。<br>・観光ルートの沿道に関しては、燃やすごみ以外も同時に開始してほしい。クリーンステーションがあると、ごみを捨ててもよい場所と思われてしまい、管理する住民の負担となっている。<br>・燃えないごみや段ボールこそ、大きくて重く高齢者には負担になるのでは、早く全品目戸別収集を実施してほしい。<br>・全品目を一斉に戸別収集にして、クリーンステーションをなくさないと諸問題の解決にはならない。<br>・重い資源ごみこそ戸別収集の対象とするべき。 | 戸別収集の対象とする品目については、戸別収集のノウハウの蓄積が無い中で複数品目における検討を進めることは過大な財政負担を招く可能性があることを考慮し、週２回収集している品目であり、クリーンステーション収集に伴う負担のなかでも、動物被害が起きやすく、ネットボックス等の維持管理の負担が生じる「燃やすごみ」を優先に取り組みたいと考えています。なお、収集効率や中間処理の見直し状況、収集事業者の対応状況に応じて品目拡大し、他自治体の例も参考にしながら、将来的にはすべての品目において戸別収集が実施できるよう体制構築を進めてまいります。 |
| 26 | 減量効果 | 9 | ・戸別収集になると、一人一人の意識が高まり、減量につながる。<br>・戸別収集で自宅前に出すとなると、ごみの減量化のための工夫が期待できる。<br>・ごみの更なる減量化には、有料化だけでは効果が薄い。<br>・実験的に実施しているところでも、ごみの削減効果が出ていないところもあるようだ。<br>・戸別収集で違反者を見つけるよりも、分別の仕方をしっかり宣伝したほうがよい。<br>・家庭から出るごみの減量効果は1軒の家庭が１回に出すゴミの量を制限しない限り少なからず減ることは無いと考える。<br>・今回の案は、ごみの減量に結び付くものとなっていない。ごみ有料化はその意味では、導入してよかったと思われる。 | ごみの減量効果については、本市のモデル事業では10.7%、有料化をせずに戸別収集をしている葉山町や平塚市などでは16～17%の減量につながったことが確認できています。<br>本市の戸別収集が全市展開に至った場合の「燃やすごみ」の減量効果は約10%と見込んでいます。 |
| 27 | 収集方法 | 3 | ・全市展開する必要はなく、希望する家庭のみ有料で戸別収集を実施すればよい。<br>・指定収集袋の歳入を施設のためではなく戸別収集に充当するのはおかしい。どうしても戸別収集をするなら、受益者負担で戸別収集料を徴収するべき。<br>・戸別収集は「特別なサービス」にあたるため、戸別収集を望む人だけ有料とし、望まない人の負担を減らすべき。 | この度の戸別収集実施検討の目的は、クリーンステーション収集に伴う様々な負担軽減とごみの減量であり、クリーンステーション収集に伴う課題については、地域性がないものと思われることから、全市での実施を進めようとするものです。2025年問題と呼ばれる更なる高齢化を控えている中、現状では適切に維持管理されているクリーンステーションも、将来的にそれが困難になる可能性があることから、安定かつ継続的にごみや資源物の収集を行っていくために、戸別収集を実施できる体制を速やかに構築する必要があると考えています。受益者負担という考え方があることは認識しておりますが、市内全域で戸別収集の方とクリーンステーション収集の方が混在する状況は、効率が低下するだけでなく、取り残し等の発生につながる恐れがあります。<br>複数の先行自治体の状況を踏まえ、戸別収集対象品目でもクリーンステーションを引き続き使用したいという声に対しては、クリーンステーションが問題なく管理できており、利用されている方全員が同意する場合に限り、利用を認める制度について検討いたします。その場合、市全体の収集を原則戸別収集とする中での継続利用希望となることからクリーンステーションでトラブルが生じた場合はご利用の方々でご対応いただくこととなります。 |
| | | 1 | ・鎌倉の道路事情は特別なので、１つのパターンで収集を決めるのではなく、地区や町内など細分化した収集をしたほうがよい。 | 車両が進入できない狭隘地区での戸別収集については、以前実施したモデル事業において山ノ内地区で検証しており、問題なく行うことができることを確認できております。戸別収集の実施に当たっては、本市の地理的特性を考慮したうえで最適な収集ができるよう調整してまいります。 |
| | | 3 | ・戸別収集は交通事情を考慮し、夜間収集であればよい。 | 戸別収集の収集時間につきましては、通勤・通学時間を避ける等、市民の皆さまにご迷惑をおかけすることのないよう配慮します。なお、夜間収集については、音の問題や収集したごみの搬入先の課題、収集事業者側の体制や委託料の高騰等の課題があるため現時点では実施は検討しておりません。引き続き、他市の取組み事例等を研究してまいります。 |
| 28 | 観光地 | 1 | ・長谷は観光客の放置ごみが多いので、早く収集場が不要になるよう戸別収集を進めていただきたい。 | ごみ集積所としてのクリーンステーションの存在がごみを呼んでしまっているところはあるかと思いますので、全品目を戸別収集とすることでクリーンステーションの撤去を目指したいと考えています。鎌倉市では、みんなでごみの散乱のない美しいまちをつくる条例に基づき、紙くずや空き缶、たばこの吸い殻等、ごみの散乱のないまちづくりを目指していますので、引き続き、鎌倉市に訪れた皆様に、過ごされた思い出とともに飲食で生じた弁当やテイクアウトの包装容器や包装紙、紙くずや空き缶、ペットボトルの飲料容器等については、持ち帰りのご協力をお願いしていきたいと考えています。 |
| 29 | 市民周知 | 1 | ・周知の際は、広報かまくらに別紙を入れれば、町内会に入っていない方にも伝えやすい。 | 市民周知に当たっては、広報かまくらをはじめ、市ホームページやＳＮＳ、主要駅へのポスターの掲示等、多様な媒体を用いて発信したいと考えています。戸別収集の実施が確定しましたら、各自治町内会向けに説明会等を実施することも検討しております。 |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| | | 2 | ・動画YouTubeなどを活用して、ごみの出し方、ステーションの管理方法などを配信するなどして指導をすることも有効なのではないか。<br>・捨てる側のマナーなどの動画を作成し、市ホームページなどで公開してほしい。 | ご指摘のとおり、動画等を活用して周知啓発を図ることは有効であると考えており、令和５年度はYoutubeで「ごみ施策やごみの分別について」及びこの度のパブリックコメントに関する動画を配信したところです。今後も機会をとらえて、様々な媒体を活用して周知啓発に努めてまいります。 |
| | | 1 | ・今回の説明では不十分である。鎌倉市の今までのゴミ施策に振り廻されてきた市民に完全に理解される案が出来ることを望む。 | 市民の皆様にご理解いただくことができるよう、今後も機会をとらえて様々な媒体を活用して情報発信に努めてまいります。 |
| | | 1 | ・現在のクリーンステーションへの不満や戸別収集への期待の声がどれだけ市に届いているのか、実態が不明。 | 令和５年12月時点の市内クリーンステーションの数は5,160カ所です。そのうち、輪番制は361カ所（７％）あります。輪番制は自宅前がクリーンステーションであることの負担を平準化するための取組みであることから、クリーンステーションの維持管理に負担を感じている方が多いということにつながります。<br>ルール通り排出されずに啓発用シール（通称ダメシール）を貼ったケースは、令和５年度上半期の実績で延べ2,842カ所（55.1%）、クリーンステーション数で1,822カ所（35.3%）という結果でした。また、不適切廃棄物の回収が多い、他地区からの持ち込みがある、袋を開けられてしまう、民泊利用など、市職員が常に対応を要するクリーンステーションが市内には301カ所（5.8%）存在しています。<br>事業者にヒアリングしたところ、収集時に清掃等の対応が必要なクリーンステーションの数は１週間あたり約400カ所あります。実際は、市民の方のご厚意で周辺の清掃等を行っているクリーンステーションもあることを考慮しますと、かなりの数のクリーンステーションに何らかの問題があるものと推測されます。 |
| | | 2 | ・戸別収集のアンケートは、どの地域で実施したのか、回数等も不明で信用できない。<br>・アンケートの結果は数値のみで個々の意見の具体的内容が分からない。 | 令和４年度に実施したアンケート内容については、鎌倉市公式noteで詳細をご案内しています。（https://kamakura-city.note.jp/n/n6bcc72d6111c）<br>このアンケートは、2022年8月から2023年3月に実施し、廃棄物減量化等推進員や自治会・町内会説明会等に参加された計548名の方にお聞きしました。 |
| | | 3 | ・パブコメ、ひっそり短期間だけ。やった感を出す。やましいことがなければ常時わかりやすく意見が誰にでも見れるよう公開できるはず。今回の説明会は２～３月で10回認定したとのことですが、もっときめ細かく町内会などで開催していただきたい。<br>・今回は大変急の素案、パブコメの提案となり、市民の周知・相談が不十分である。もっと時間をかけて意見を聴くべき。このまま、ありきで全戸戸別を目指すのは回避すべき。 | この度のパブリックコメントは、鎌倉市意見公募手続条例に基づき、30日間の意見公募期間を設けたものです。情報発信については、広報かまくらや町内会掲示板、各種SNS（LINE、note、facebook、X（旧twitter））や市ホームページ、自治町内会向け３Ｒ説明会等、様々な媒体を利用して周知に努めたところであり、今後もそれを継続していきます。 |
| 30 | 付加価値 | 1 | ・戸別収集を実施することのメリットとして「高齢者世帯については安否確認に寄与する」とあるが、収集作業員に安否確認の把握、またそこへの意識は期待して良いものなのか。 | 収集事業者については、一定のサービスレベルを確保するため、単純に価格のみで判断するのではなく、事業者の実績や体力、従業員への教育体制などについて評価し、その総合得点により事業者を決定するプロポーザル方式等で業者選定を実施します。業者選定にあたっては、安否確認や見守り機能等の付加価値についても市が求めていることを明確にし、経費増を補って余りある価値に着目した事業者選定を実施したいと考えています。 |
| | | 3 | ・どのような方法で安否確認をするのか。<br>・2025年問題、高齢化を考えたとき、戸別収集の利点として高齢者世帯については安否確認に寄与することが一番の利点になるのではないでしょうか。ごみ事業だけを考えるのではなく、この事業を横断的に考えることによって市政を向上させる術を持つ事業に昇華できるのでは。 | 戸別収集の実施に当たって、たとえば高齢者の見守り機能として、何日間も続いてごみが排出されていない世帯について市関係課と連携して対応を行うなど、収集業務を通して付加価値を提供できるものと考えています。 |
| | | 1 | ・戸別収集を進める意義は理解できた。過大な費用をかけることなく、ごみ出し困難者の支援、さらには安否確認までできるのであれば、それもよい。 | 戸別収集の実施には様々なメリットがあると考えており、ごみ収集そのもののサービスの向上だけではなく、見守り機能などの副次的効果も期待できるものと認識しています。実施に当たっては、費用対効果を常に意識しつつ、収集業務に支障のない範囲で効率化等を図り、経費の抑制に努めてまいります。 |
| 31 | 収集時間 | 1 | ・自宅が道路に面していますので玄関先に出しておくのが気になる。毎回同じ時間に収集してもらえるのか。 | 収集時間については、当日の収集状況等により変動するため、必ずしも同じ時間帯に収集できるとは限りません。 |
| 32 | 排出量 | 2 | ・1家庭が1回で出せるごみの量を教えてほしい。<br>・玄関先に出せるのであれば、たくさん出したい。 | 従前から変更ありません。燃やすごみは40リットル（有料袋LLサイズ）５袋までとなります。 |
| 33 | 動物被害 | 1 | ・戸別収集しても、ゴミの車が渋滞にはまってしまうと、今までよりももっと時間がかり、夏場の３４度の外気温の中、腐り出し、カラス被害が多くなる。 | 動物被害対策のためにも、蓋のついた排出容器をご用意いただきたいと考えています。モデル事業や他市事例では、戸別収集の導入により動物被害は減ることが実証されております。 |
| 34 | 少量排出事業所 | 1 | ・鎌倉市で清掃業・廃棄物収集運搬業を営んでいるが、少量排出事業所制度で1週間に20リットルの燃やすごみを2袋も回収してしまうと、私たちの仕事が無くなってしまう。 | 少量排出事業所制度については、既存の事業系ごみの枠組みから漏れてしまっている事業者を対象としています。既に構築されている事業系ごみの収集のあり方を変えようとして実施するものではないため、制度の利用にあたっては一定の基準を設けることを検討しています。 |
| 35 | ごみ行政全般 | 2 | ・地域の家庭ゴミ収集が自治体では無く、自治会、町内会の管轄である現状は早急に変えるべき。<br>・私の住む町内会は入会していないと近くのゴミステーションに捨てられないが、入会しても意味を感じないので退会したいという方も多く困りものだ。（会費でステーション関係を作ったから仕方ないかもしれないが） | 廃棄物の処理及び清掃に関する法律（廃掃法）「第6条の二の４　土地又は建物の占有者は、その土地又は建物内の一般廃棄物のうち、生活環境の保全上支障のない方法で容易に処分することができる一般廃棄物については、なるべく自ら処分するように努めるとともに、自ら処分しない一般廃棄物については、その一般廃棄物処理計画に従い当該一般廃棄物を適正に分別し、保管する等市町村が行う一般廃棄物の収集、運搬及び処分に協力しなければならない。」に基づき、クリーンステーションは、そのクリーンステーションを御利用されている住民の自主運営による設備として、そのクリーンステーションを利用している住民の方々が話し合いにより居住地域の中で場所を選定し、維持管理（掃除当番等のルールづくり、ネットボックス等の購入、物品管理、清掃美化）していただくこととしています。現時点では、燃やすごみから戸別収集を開始したいと考えているため、すぐにクリーンステーションがなくなることは想定しておりませんが、将来的に全品目が戸別収集になったときにはクリーンステーション収集は廃止となります。<br>なお、市では、クリーンセンターに各地域を担当する指導員を配置して地域を巡回し、ごみの適正排出、管理等についてクリーンステーションの利用者に助言指導を行っていますので、お困りの際はご相談ください。 |
| | | 1 | ・戸別収集に係る費用をごみ処理施設建設に使用したらいかがか。 | 今回、戸別収集の実施を検討する理由の一つとして、「クリーンステーション収集に伴う様々な負担軽減」があります。クリーンステーション収集では、一部の方に維持管理の負担を強いている状況が発生しており、また、現状では適切に維持管理されているクリーンステーションでも、転出・転入や高齢化の進展、ライフスタイルの変化によって、将来的にクリーンステーションの維持管理が困難になる可能性があることから、継続的に安定した収集方法を確立するため、戸別収集を実施していこうとするものです。<br>ごみ処理施設については、処理体制及び各施設の状況を踏まえ、鎌倉市一般廃棄物処理施設建設基金を活用し、適切に整備を行っていきます。 |
| | | 1 | ・健常者で子育て世代は正しく分別出来る事から別の対策を行った上で、それでも適正に分別されなかった場合は罰則を伴った条例を作ってはどうか。健常者の燃えるゴミの袋と要介護者や特別障害者のゴミの袋の色を変えてはどうか。 | 罰則を伴った条例を作る予定はありませんが、ルールを逸脱した排出があった場合は適切に指導してまいります。色等を含め、ごみ袋に関する運用については、他自治体の取組み等を研究してまいります。 |
| | | 1 | ・鎌倉市のごみ処理に関するマスタープランを策定すべき。全廃棄物についての戸別収集のスケジュール、分別区分の緩和、ゴミ有料化による財源使途（当初は新規焼却炉建設費の財源として有料化されたはず）の明確化等を含むプランを提示してほしい。 | 鎌倉市では、一般廃棄物処理基本計画により、長期的・総合的な視点で、ごみの減量・資源化及び生活排水の適正処理等について定めています。 |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| | | 1 | ・ライフスタイルの多様化とあるが、対応するなら夜中でも24時間支所で回収できるようにすべきでは。 | 各品目ごとの収集頻度については、それぞれの排出量等に応じてその回数が設定されており、各地域ごとに収集する曜日を設定し、効率よく収集作業を行っています。<br>現在、新聞・雑誌・古本・段ボールなどの紙類（ミックスペーパー、紙パック、布類は除く）については、収集日以外にも出すことが出来るよう市内７か所に拠点回収箱を設置していますが、他品目については臭いや分別、管理等の問題もあり拠点回収は行っておりません。<br>なお、店舗が開いている時間に限られますが、プラスチックトレーやペットボトルなどの資源物については店頭回収をご利用いただく方法もありますので、ご検討ください。 |
| | | 6 | ・自前の焼却施設があれば更なるゴミ削減は不要。焼却処理可能な排出量を設定し、全市民で割った分のゴミ袋を無料配布するべきである。<br>・野村総研跡地にごみ焼却場を造るべき。他市にごみ処理をまかせるべきではない。<br>・自分のゴミを自分で処理できないで観光都市・鎌倉と言えない。焼却炉の解決の方が先ではないか。<br>・鎌倉市のごみの最大の問題は自前の処理施設を持たないことだ。他市の焼却炉や民間に頼っている事態を解決することこそ必要だ。 | 近年、日本国内の廃棄物処理における主な課題として、これまでの大量生産、大量消費、大量廃棄といった資源やエネルギーを浪費する仕組みを根本的に転換し、可能な限り地球の環境負荷を低減する循環型社会の形成が求められています。本市では、限られた資源やエネルギーの有効利用による環境負荷の少ない「ゼロ・ウェイストかまくら」の実現に向け、ごみの減量・資源化を推進しており、燃やすごみの処理手法については、焼却施設を建設する場合と建設せずに資源化を進めた場合を比較した結果、焼却施設を建設せずに資源化することに方針転換することが妥当であると判断し、平成31年（2019年）3月に「将来のごみ処理体制についての方針」を公表しました。<br>国においても、焼却施設を中小規模の自治体が単独で保有するには財政的負担が大きく、エネルギー回収の効率や人材不足、気候変動への対応の必要性から、広域化や民間活力の導入による施設の大規模化・集約化を進める考えが示されていることから、燃やさざるを得ないごみについては、「鎌倉市・逗子市・葉山町ごみ処理広域化実施計画（令和2年（2020年）8月策定）」及び「第３次鎌倉市一般廃棄物処理基本計画（令和３年６月改定）」に基づき、逗子市の既存焼却施設で処理することとしています。 |
| 36 | その他 | 1 | ・本当に実現するのか疑心暗鬼。長年検討しているのにスピード感がない。市として腰くだけしないよう実現してもらいたい。 | 今後さらに高齢化やライフスタイルの多様化が進展した場合にも、安定かつ継続的にごみや資源物の収集を行っていく必要があります。そのためにも、本市としては戸別収集を実施できる体制を速やかに構築する必要があると考えており、スピード感を大事にしながら、確実に業務を進めてまいりたいと考えています。 |
| | | 1 | ・ゴミの出どころが明確になれば、分別も守られるし、ゴミの減量が期待できるという考え方は極論であって、このような対応は市民を敵にまわしてしまう印象がぬぐえない。担当部署の方には、更に現実的な問題点をわかり易く取り上げ、市民へさまざまな形で周知し、もっと積極的に市民からの意見をとり入れながら、今日の戸別収集についての提案を改めて考え直していただきたい。 | 本市モデル事業や有料化せずに戸別収集を実施している他自治体では、排出者責任の明確化によって分別が促進されるとともに減量効果が発揮されていることを確認できています。この度実施しましたパブリックコメントは、市が考えている戸別収集のあり方について、市民の皆様に示し、それに対するご意見をいただくために実施するもので、皆様からのご意見を参考に実施方針を定めていこうとするものです。戸別収集が実施されることとなりましたら、市民の皆様に周知のための情報発信が増えますので、そうした機会等を活用して、ごみ処理行政に関わるさまざまな情報をわかりやすくご案内してまいります。 |
| | | 1 | ・以前に試行してうまくいかず断念した方法をまたするのはおかしい。 | 戸別収集については、モデル事業終了後に一旦実施は見送ったものの、引き続き実施に向けた課題整理を行ってきたものです。今回、戸別収集の実施を検討する理由の一つとして、「クリーンステーション収集に伴う様々な負担軽減」があります。クリーンステーション収集では、一部の方に維持管理の負担を強いている状況が発生しており、また、現状では適切に維持管理されてるクリーンステーションでも、転出・転入や高齢化の進展、ライフスタイルの変化によって、将来的にクリーンステーションの維持管理が困難になる可能性があることから、継続的に安定した収集方法を確立するため、戸別収集を実施していこうとするものです。 |
| | | 1 | ・市の実施説明には戸別収集の利点とされるものばかり書いてあり、この方策をすることのデメリットが記されていない。 | 戸別収集のデメリットとして考えられることとして、車両台数の増加という点が挙げられます。クリーンステーション収集と比較して収集ポイント数が増えるため、限られた時間内で処理するためには増車（増員）が必要となります。増車に伴い経費の増加が見込まれますが、そちらにつきましては、方針（素案）説明資料の中で、コスト増の問題として記載しています。 |
| | | 1 | ・戸別収集の必要性が徐々に高まっている現況を把握しながら、具体的に対処してこなかったのは市当局の怠慢である。 | 昨今、高齢化や共働き世帯の増加、リモートワークの増加や夜間帯に働く方など、ライフスタイルの多様化が進んだこともあり、あらためて戸別収集の実施を望む声がある状況です。こうした社会情勢の変化を踏まえ、市民サービスの向上や福祉的な観点も含め、安定かつ継続的な戸別収集の体制を構築するために、今回あらためて戸別収集の実施を検討することとなったものです。戸別収集が実施されることとなりましたら、速やかに事業を開始できるよう努めます。 |
| | | 1 | ・外部に業務委託し、ヒアリングだけで済ませているようでは他人事、説得力はない。行政自らが定期的にゴミ収集を体験・経験すべき。戸別収集のモデル地区が決まったなら、戸別収集を体験実践、事業者の労に報いるためにも、公僕としての発注者が身体を張ることが肝要ではないか。 | 家庭系ごみの収集はすべて民間事業者に委託しておりますが、市職員は声かけふれあい収集等で今も収集業務に携わっています。<br>また、本市における戸別収集のモデル事業については、平成24年（2012年）10月から平成28年（2016年）2月まで鎌倉市内の一部地区で実施済みです。 |
| | | 1 | ・意見公募手続説明会においても多数の課題、問題、懸念点が表明されましたが、これらの課題、問題点、懸念点に対する解決策が無いまま戸別収集を導入することは絶対にしないよう、強く要請する。ゴミも勝手な投げ捨てやタバコの吸い殻などのポイ捨てを禁止するような条例の制定、鎌倉市の名前による、ゴミの投げ捨てやタバコのポイ捨てを禁止する旨のステッカーの配布、防犯カメラの設置補助金の提供、ゴミ箱が動いてしまったときの対応や市としての管理責任等、万全の対策を取ることを強く要請する。 | 本市では、「クリーンかまくら条例」に基づき、ポイ捨てをなくして、みんなでごみの散乱のない美しいまちをつくることを目指しています。過去のモデル事業において課題とされた点については、今後その対応策等もあわせて市民の皆さまに情報提供してまいりたいと考えています。ポイ捨て防止のための掲示物につきましては、市で配布をしていますので、環境保全課（電話：0467-61-3443）までお問い合わせください。なお、各家庭の防犯カメラ設置に関する補助金については現時点では設置の予定はありません。また、排出容器の風対策等につきましては、個々のご家庭でご対応をお願いすることとなります。 |
| | | 1 | ・モデル事業や別地域のアンケートによると、取り残しが起こるようなこともあったようだが、これについての対策案はあるのか。 | 取り残し対策として、各ご家庭の排出場所をリスト化し、特に開始当初の不慣れな時期にはそのリストを活用し、確実に収集できるよう検討を進めております。また、もし取り残しがありましたら、あらためて収集に伺いますので、市までお知らせください。なお、過去のモデル事業では、開始当初は取り残しが発生しておりましたが、１か月ほどするとほぼゼロになったことから、収集作業員の慣れによりかなり改善されるものと考えています。また、ＧＰＳを積んだタブレットを収集車に搭載するなど、ＩＯＴを活用した収集の導入も検討しています。 |
| | | 1 | ・クリーンステーションのごみの散乱について、収集後のクリーンステーション清掃も含めて委託はできないか。 | 現状のクリーンステーション収集委託契約において、周辺に収集品目等が飛散している場合は清掃、周辺を清潔にすることを求めているところですが、本格的な清掃となると収集経費の増加と収集効率の低下につながるため、難しいと考えています。 |
| | | 1 | ・実施後の収集作業がスムーズに推進できるよう今から道路上の駐車、障害物の排除等の環境整備を図る。 | 過去に収集作業を行っていたベテラン職員が実際に市中をまわって現地確認をしておりますので、その中で道路環境等の確認を行っています。 |
| | | 1 | ・高齢者が増加すると言うことは認知症など介護者が増加する可能性がある。特別障害者も正しく分別出来るか疑問で戸別収集が解決方法になるか疑問。 | ご高齢や障害等を理由にごみ出しが困難な方への支援策として、市では戸別収集とは別に「声かけふれあい収集」を実施しております。対象となる方は一定の条件（https://www.city.kamakura.kanagawa.jp/gomi/koekake250401.html）を満たす必要がありますので、一度市にご相談ください。 |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| | | 1 | ・韓国のようにステーションを置き、それぞれがカードを差し込んで自分の出したゴミの重さで記録を付けて、ゴミ処理代として請求される方が、不公平感無く、個人の満足に繋がるのでは。 | 家庭ごみの指定収集袋はその大きさによって値段を変えているため、各ご家庭から排出されるごみの量に応じて費用負担を公平化できているものと考えています。 |
| | | 1 | ・燃えるゴミの日を週3回にしてほしい。食用油の収集日を増やしてほしい。せめて月2回にしてほしい。 | 戸別収集の体制構築の過程で、ごみや資源物の収集量の変化や処理技術の進歩に応じた分別区分の見直し、収集回数の適正化を図ってまいりたいと考えていますが、現時点では、燃やすごみや食用油の収集頻度を増やす予定はありません。 |
| | | 1 | ・プラゴミも有料袋にしてよい。 | 本市では、容器包装プラスチックや製品プラスチックなどの資源物については無料で収集しています。近年、海洋プラスチック問題や気候変動問題など、地球規模での環境問題が懸念されていることもあり、ごみの発生抑制、分別によるごみの減量・資源化の促進を図ることを目的として有料化を実施している自治体もあることから、他市事例等の情報収集を行いながら、引き続きより良い排出方法について研究してまいります。 |